

## 【資料編】

### 1 用語集

#### 【アルファベット】

AI

Artificial Intelligence の略。人工知能のこと。

eラーニング

パソコンやネットワークを利用して教育を行うこと。

Facebook

米フェイスブック社の提供するソーシャルネットワーキングサービス（SNS）。

GIS

Geographic Information System の略。電子化された地図上に、道路や建造物等の地理的な位置や空間情報、人口や土地利用状況等の情報を合わせて蓄積し、分析するシステム。蓄積されたデータを重ね、加工することで、データの分析や計画の策定に利用できる。

IC タグ

ものの識別に利用する非常に小さな IC チップ。識別コード等を保有し電波で通信を行うことが可能であり、従来のバーコードに代わる技術であるが、様々な応用が可能である。

IoT

Internet of Things の略。モノのインターネットと呼ばれ、あらゆるものがインターネットに繋がれ、互いに情報伝達を行う技術のこと。

Jアラート

全国瞬時警報システム、衛星通信と市の防災行政無線を利用し、緊急情報を住民に瞬時に伝達するシステム。

Lアラート

災害情報共有システム、ICT を活用し、避難勧告・指示をはじめとする地域の災害情報等を一括集約し、様々なメディアを通じて迅速かつ効率よく地域住民に配信する共通基盤。

従前、「公共情報コモンズ」として運用されていたが、国民に分かりやすいという観点から平成 26 年 8 月に名称が変更された。

## RPA

Robotic Process Automation の略。ソフトウェアロボットを活用した業務自動化技術のこと。事前に設定した実行手順に従ってコンピュータの操作を自動実行する仕組みで、業務システムの定型的な操作やデータ入力等を自動化することができる。

## SNS

ソーシャルネットワークサービス (Social Network Service)、または ソーシャルネットワーキングサービス (Social Networking Service) の略。参加者間のコミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援するインターネット上のサービス。個人同士が容易にコミュニティーを構築できる。

## WEB 会議

庁内ネットワークやインターネットを利用し画像と音声配信することにより行う会議システム。

### 【ア】

#### アウトソーシング

特定の業務を外部の専門会社に委託すること。外部の専門的な知識やノウハウを活用することで、内部の人材は主目的に集中して投入しようという戦略的な手法。

#### アクセシビリティ

障がい者を含む誰もが、情報機器やソフトウェア等に支障なくアクセス及び利用できること。

### 【イ】

#### 移動系無線

車載型や携帯型の移動局と市役所との間で通信を行うもので、災害時等の行政機関内の通信手段。

### 【オ】

#### オープンデータ

機械判読に適した形で、二次利用可能なルールの下で公開される公共データ。

### 【カ】

#### 仮想化

システムに利用するサーバコンピュータの場合、1 台のサーバをあたかも複数台のサーバであるかのように利用する技術。

## 【キ】

### 業務継続計画

大規模災害や事故で被害を受けても重要業務をなるべく中断させず、中断してもできるだけ早急に復旧させるための計画。

### 共同アウトソーシング

複数の市町村等が共同で電子自治体業務の外部委託（アウトソーシング）を行うこと。  
低コストで高いセキュリティ水準のもと共同データセンターにおいて情報システムの運用を行う。

## 【ク】

### クラウドコンピューティング

インターネットを利用したサービスの利用形態を表す。インターネット上のさまざまなハードウェアやソフトウェアの資源をクラウド（雲）として捉えて、ユーザーはそうしたサーバ群の存在を意識することなく、さまざまな処理をサービスとして利用する。

### グループウェア

組織内のネットワーク上で、複数の人が共同で作業することを目的としたソフトウェアの総称。  
電子メール、スケジュール管理、文書共有などの機能を組み合わせて持っている。

## 【コ】

### 公共情報コモンズ

災害時の避難勧告・指示など地域の安心・安全に関するきめ細かな情報の配信を簡素化・一括化し、テレビ、ラジオなどの様々なメディアを通じて、地域住民に迅速かつ効率的に提供することを実現するもの。

### 公衆無線 LAN

公共の場所に設置されたアクセスポイントを利用して無線 LAN を利用できるサービス。

### コールセンター

顧客への電話対応業務を専門に行う事業所・部門。

### 個人番号カード

個人番号制度において、本人確認などに使用される識別カード。

### コンピュータウイルス

コンピュータやソフトウェアに侵入して、データの破壊や改ざんなどの悪さをするプログラム。

## 【サ】

サーバ

ネットワークシステムにおいて、端末機から受けた命令を実行し、結果を端末機に返すコンピュータ。

サイエンスミュージアムネット

S-Net と表記される国立科学博物館が提供する日本の博物館・研究機関に保管された自然史標本と研究員・学芸員に関する情報を検索及び閲覧できるサービス。

最適化

組織全体の業務やデータ等を事前に標準化し、これに基づいて情報システムを構築することで無駄を無くそうとする取り組み。

サイト

企業や個人単位で公開している複数のホームページのまとまりのこと。

## 【シ】

住民基本台帳カード

本人確認を必要とする行政手続きのインターネット申請が可能となる IC カードで、居住の市区町村で発行している。

情報セキュリティ

情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持すること。つまり、この3つの言葉は相矛盾する性質を有しているので、3者のバランスを取りながら、必要と認められた人だけが、いつでもどこでも情報資産を利用できるように保つこと。

## 【ス】

スマートフォン

携帯コンピュータの機能を併せ持った携帯電話。

## 【ソ】

ソーシャルネットワーキングサービス

「SNS」を参照。

## 【タ】

### タブレット端末

コンピュータ製品の分類の一つで、板状の筐体の片面が触れて操作できる液晶画面(タッチパネル)になっており、ほとんどの操作を画面に指を触れて行うタイプの製品のこと。また、特にそのような製品のうち、スマートフォンと共通の OS やアプリケーションソフトを使用する製品のこと。

## 【チ】

### 地球規模生物多様性情報機構

GBIF と表記され、世界の生物多様性情報を共有し、誰でも自由に閲覧できる仕組みを作る為に発足された機構。

## 【テ】

### ディープラーニング

コンピュータが自ら学習し、膨大なデータから関連性や特徴を抽出する技術。

### デジタル化

写真や手書きの書類等のアナログデータをコンピュータ上利用できるデータに変換する方法。

### デジタルデバイド

IT の普及に伴い、それを使いこなせるかどうかで二極化がおこった状態。「デバイド」には「分割する」という意味がある。

### テレワーク

情報通信技術を活用して、時間や場所に制約されない働き方のこと。

### 電子自治体

コンピュータやネットワークなどの ICT 技術を行政のあらゆる分野に活用することにより、住民の方々や企業の事務負担の軽減や利便性の向上、行政事務の簡素化・合理化などを図り、効率的・効果的な自治体を実現しようとするもの。

## 【ト】

### 統合型地理情報システム

市が利用する地図データのうち、複数の部局が利用するデータ（例えば、道路、街区、建物、河川など）を各部局が共用できる形で整備し、利用していく庁内横断的なシステム。

### 同報系無線

屋外拡声器や戸別受信機を介して、市役所から住民等に対して直接・同時に防災情報や行政情報を伝えるシステム。

## 【フ】

ファシリティ

情報通信機器を格納する設備や施設のこと。

ブロードバンド

データが行き来するための道幅が広いという意味で使われる。高速で大容量の情報のやり取りが可能なインターネット接続のこと。

ブログ

ウェブログ（Weblog）の略で、自分の意見や感想を日記風に記して、それに対する感想などを閲覧者が自由にコメントできる形式の Web サイトのこと。

## 【ホ】

ポータルサイト

情報提供や意見交換などを目的として、インターネット上に設ける窓口サイト。

北海道総合行政情報ネットワーク

災害時の通信手段として、道で運用しているネットワーク。このネットワークは、本庁、振興局及び市町村を地上系と衛星系の2つの通信ルートで結び、電話やファクシミリをはじめ、画像伝送など多様な行政情報の通信手段として活用されている。

北海道電子自治体共同運営協議会

北海道と道内市町村で構成されており、電子自治体の実現に向けた効率的、効果的に共同アウトソーシング事業を推進する協議会。

## 【メ】

メール@きたみ

本市が、災害時の災害状況等の緊急情報、除雪情報、くらしの情報、イベント情報などのさまざまな情報から、希望する情報を登録制で携帯電話やパソコンに配信するメール配信システム。

## 【モ】

モバイル端末

携帯電話、スマートフォン、超小型PCなどの「モバイル」＝（持ち運びができる）情報機器の総称。

## 【リ】

リテラシー

「能力」の意。ここでは個人が身につけている IT 活用のための能力。

## 【ワ】

### ワンストップサービス

複数の部署や窓口に分かれている行政手続きを、1度で、あるいは1箇所できるように利便性を高めること。二度手間が起らないよう、行政手続きに関する情報提供の充実や手続きの簡素化を推進することを含む。